

無線LANで避難情報

総務省関東総合通信局は二十三日、首都直下型地震を想定し、来街者に無線LANを通じて災害・避難情報を即時に伝える実証実験を東京・池袋で実施した。

震災時に帰宅困難者が押し寄せることが予想される池袋駅前と春日通りにIP（インターネットプロトコル）カメラを設置。実験参

総務省、池袋で実証実験

加者は無線LAN通信に対応した携帯電話で駅前などの画像を受信しながら写真、安全な避難経路を確認した。バス停の案内板、自

首都直下型地震を想定

動販売機などにも情報を受信できる装置を取り付け、被害状況や交通情報などを伝えた。

関東総合通信局は実験について「人々が駅前などに殺到してパニックになる事態を避けるため、どこでも情報が得られる仕組みが重要だ」と説明している。実験結果は全国の地方自治体に知らせて、防災システムづくりに役立ててもらおう考えだ。

